

# 注意！ おたふく風邪で 耳が聴こえなくなる事があります！！

私は平成9年3月におたふく風邪から左耳が失聴し全く聞こえていません。

---

おたふく風邪の流行時期・・・私の様な難聴者を少しでも減らせないかと考え、このようなプリントを作成しました。小さなお子様は自ら『聞こえない』と訴える事が少なく、発見が遅れるケースが多く見られています。大切なご家族の身体を守るため、是非ご一読ください。

---

おたふく風邪の合併症の一種、おたふく風邪のウイルス＝ムンプスウイルスによるムンプス難聴は、主に片耳に高度難聴が起こりますが両耳に起こる場合もあります。これまで、まれなものと片付けられていたムンプス難聴、その頻度は「1万～2万人に1人」と言われていましたが、最近では数百人に1人発症との報告もあるようです。

おたふく風邪発症あるいはおたふく風邪にかかった人との接触後、“指こすり”などの方法で聴力チェックを最低2週間は行うことをお勧めいたします。(指こすり：片方ずつ耳のそばで指をこすります。その際髪や耳、頬などに指が触れないよう気をつけましょう・・・左右同じように聞こえますか?)

早期治療での回復例もあるようですので、上記のチェックにて少しでも聞こえに異常を感じるようでしたら、早い時期に耳鼻科受診される事をお勧めいたします。

おたふく風邪には『不顕性感染』<sup>ふけんせいかんせん</sup>と言い、症状の全く出ない感染があります。不顕性に感染したと思われる時期に「ご飯がおいしくない」と言っていたお子様がいらっしゃいます。おたふく風邪の流行時期に特に症状がなく「ご飯がおいしくない」と訴えている時は要注意と思い聴力チェックをされても良いかもしれません。

また、上記同様に不顕性感染の場合でも電話での聞こえの悪さ（通常より音が半分くらい、くもって聞こえるなど）と、お風呂に入り潜水した際に耳がもやもやすると訴えていたお子様、特に熱もなく普段元気に遊ぶお子様がフラフラし座り込む・走った際に転ぶことがしばらく続く場合（平衡感覚異常）などや、機嫌の悪さが数日続くなどの時には、おたふく風邪の不顕性感染を疑い聴力チェックを行うことをお勧めします。

---

ムンプス難聴に関するホームページを作成して居ります。まだ作成途中ですが、お時間のある時にご覧になってみてください。(携帯からもご覧になれます)

ムンプス難聴のお部屋 URL : [http://www.geocities.jp/munpusu\\_nantyou/index.html](http://www.geocities.jp/munpusu_nantyou/index.html)

※検索サイトにて『ムンプス難聴のお部屋』と検索してもヒットします。 管理人☆マユ